



JA新しいわての自己改革

もっと知ろう、JAの取り組み

JA新しいわての「農家所得の増大」や「地域の活性化」に向けた取り組みを紹介。
 今月は、常勤理事並びにTACの出向く活動について紹介します。

農家組合員の所得増大と農業生産拡大に向けて

JAでは農家の所得増大と生産拡大に向け、担い手経営体(個人・法人・集落営農等)のニーズに応える個別対応強化を進めています。営農経済部門では、多様化する担い手のニーズに応えるためTACを各エリアに設置し担い手経営体の皆さまの所へ訪問するほか、組合員の意見を事業経営に反映させるために常勤役員が地域の担い手経営体を訪問しています。

常勤役員



農業組合法人の経営課題や
JAへの要望(久慈)



生産物の価格低下のためJA
へ販売対策の要望(久慈)



作業負担の掛からない土壌
消毒剤の要望(八幡平)

TAC



ニンジン出荷にかかるJAへ
の要望(東部)



連作障害対策資材助成の情
報提供(久慈)



菌床ブロックを作る施設の
要望(東部)



BB肥料大規模農家対策の
情報提供(南部)



共同購入トラクターや資格
取得助成の情報提供(北部)



常勤役員から



かりや まさゆき
 刈谷 雅行 常務理事(販売事業(米穀園芸)、営農企画部門担当)

JAでは、担い手金融リーダー(農業融資担当)、TAC(営農経済渉外)を設置し、農家組合員の皆さまへの訪問活動を行っています。農家組合員の声や要望を聞き取り、JAの事業運営に反映させてまいります。

また、各常勤役員も訪問活動を行い、より現実的な意見を聞かせていただき、次期3か年計画や事業運営に生かし、組合員の皆さまが利用しやすいJAを目指してまいります。